

(一社) 日本木材学会 2017 年度木質物性研究会・木材と水研究会  
合同シンポジウム 開催予告  
(9月14日(木)～15日(金) 松本梓水苑)

シンポジウムテーマ  
相思相愛なのにもいつもすれ違い—基礎研究と開発研究

大学・試験機関・企業で活躍する総計6名の講師の方々に、基礎研究従事者としての立場から、また開発研究者・技術者としての立場から、あるいは材料の供給側と利用側の立場から上記テーマに沿って話題をご提供いただきます。

1日目の夜は懇親会です。おいしいものを食べ、気持ちよく酔いませう。さらに温泉で一風呂浴びて、リラックスした雰囲気下で“大学院生を中心とする若手研究者”の研究発表会を行います(飛び入り歓迎)。2日目の講演終了後、木質物性科学・木材乾燥工学の分野で長年指導的立場にあった碩学2名のアドバイスのもと、まとめと総合討論を行います。講師(6名)および碩学(2名)とのバトルもよし、講演者同士のバトルもよし、若手と年配とのバトルもよしと、何でもありです。司会は落とし穴、爆弾を用意しているかもしれません。参加者が一体となって、これからあるべき木材科学・木材工学のあるべき姿を焙り出しましょう。皆様の多数のご参加をお待ち申し上げます。

講師(所属と専門)

五十田博(京大生存圏研究所)(最新の木材構造設計)  
貞広修(清水建設株式会社)(伝統木造と実務と材料特性)  
小林功(森林総合研究所)(木材乾燥)  
田島宣浩(セブン工業株式会社)(木質内装建材製造)  
神代圭輔(京都府立大学)(木材物性、実学につながる木材物性の基礎)  
松尾美幸(名古屋大学)(木材物性、経年変化と湿熱処理)

碩学

久田卓興(元森林総合研究所)(木材乾燥、基礎と実務)  
祖父江信夫(元静岡大学)(木材物理学)

主催:(一社)日本木材学会 木質物性研究会・木材と水研究会

協賛:(公社)日本木材加工技術協会、産総研コンソーシアム持続性木質資源工業技術研究会

日時・場所

2017年9月14日(木)13:00開場、9月15日(金)12:00頃終了

松本梓水苑(長野県松本市)(全館貸切)、送迎バスあり

参加費(宿泊・懇親会費は別途):一般(5,000円)、学生(3,000円)

連絡先(事務局):名古屋大学生命農学研究科 山本浩之([hiro@agr.nagoya-u.ac.jp](mailto:hiro@agr.nagoya-u.ac.jp))

申し込み方法:木質物性研究会ホームページ([http://www.jwrs.org/kenkyu/physical\\_p/](http://www.jwrs.org/kenkyu/physical_p/))に  
近々掲載いたします。そこからお申し込みください。